

平成22年度本部事業報告

世界経済は回復基調にあったが、日本では円高・ドル安に歯止めがかからず、デフレのさらなる長期化が懸念され、国民の景気減速への警戒感是一段と高まった年であった。特に、国内総生産においては中国の飛躍的な成長率に追いつかず、世界第2位の座を譲ることとなり、台頭著しいアジア諸国に比べて、日本は大変厳しい状況にあった。

さらに、3月の東北地方太平洋沖大地震は、未曾有の甚大な被害を及ぼし、産業界にも深刻な影響を与えた。被災地の一日も早い復旧、復興をお祈り申し上げる。

こうした試練のもとで、包装産業はグローバル化、より高度な情報ネットワーク化、少子高齢化、そして環境保全という大きな潮流への対応が求められた。包装関係者にとっては企業の社会的責任と包装との関わりへの理解を深めつつ、こうした変化に対する包装の開発や改善への的確な取組みが課題となっている。

このような状況の中で、協会事業は年度活動方針および事業計画に沿って展開され、例年通りの成果をあげることができた。特に、協会の柱となっている包装人材育成事業（包装管理士講座、包装アカデミー等）や情報提供事業は当初計画以上の成果をあげることができた。また、10月に開催した第23回東京国際包装展（東京パック2010）は、内外から17万人を超える来場者を得て、盛況かつ成功裡に開催することができた。このイベントを通して、持続可能な循環型社会に貢献できる包装を実現してゆくことは、世界中の包装関係者の共通の課題であることがあらためて認識され、これからの包装を考える上での大きな指針となった。

なお、1年以上にわたり関係各位と検討を重ねてきた公益法人移行については、公益社団法人を目指して認定申請を行うことを決め、2月の臨時総会での決議を経て3月に申請を行った。今後も公益法人改革の趣旨にもとづいて、協会組織の強化と活動の活性化を図り、より公益性の高い事業を積極的に推進する。

第1 諸会議

- | | | |
|--------------------------------|--------------------|----------|
| 1) 第48回通常総会 | 5月26日(水) | 東京會館 |
| 2) 平成22年度臨時総会 | 2月2日(水) | 東京會館 |
| 公益社団法人移行申請に必要とされる定款変更等の決議を行った。 | | |
| 3) 第91回理事会 | 5月19日(水) | 東京會館 |
| 第92回理事会 | 2月2日(水) | 東京會館 |
| 4) 常務理事会 | 年5回開催(第347回~第351回) | |
| 5) 第102回運営委員会 | 5月7日(金) | JPI会議室 |
| 6) 第96回全国支部連絡会 | 5月7日(金) | JPI会議室 |
| 第97回全国支部連絡会 | 12月6日(月) | 国立京都国際会館 |

第2 事業

1. 調査研究

1) ISO/TC122 (包装) の国際幹事国 (事務局) としての活動

- (1) 第15回総会を2011年3月2日、タイ国 (バンコク) にて開催し、ISO規格の新規提案と「包装と環境」や「アクセシブルデザイン」のISO規格開発経過報告に関する活動を行った。また、包装のビジネスプランを更新した。
- (2) 各国からのISO規格開発提案とISOの中央事務局からの定期見直し指示に対して遅滞のないように対応した。

2) ISO/TC122 (包装) に関する調査研究

次の5件の調査研究を行い、それぞれの結果を3月に答申した。

- (1) 「包装の品質要件及び試験」に対して包装貨物試験法と試験規格、危険物の輸送容器および安定性試験などの規格の定期見直しに対する調査
包装貨物性能評価に関する国際標準開発に対応して、主要な海外規格を調査するとともに、ISO4180 (包装貨物性能試験方法) の次回定期見直し時に提示する改正項目 (案) を明確にした。
- (2) 「ユニットロード関係のISO規格の定期見直し」に対する調査
アドホックグループ (AHG) でISO3394剛性矩形包装の寸法およびISO3676ユニットロード寸法において改正提案が最終投票された。結果は近々に公表される予定である。
- (3) 日本が提案した「包装のアクセシブルデザイン」に関する国際規格化の調査研究
TC122/WG (ワーキンググループ) 9としての国際会議を開催し、関係国と連携しながら日本が主体的な立場で進めている
第1回 10月14日～15日 中国・天津 日本から3名出席
第2回 2月28日～3月1日 タイ・バンコク 日本から3名出席
本年度のテーマである「包装への一般的要求事項」と最終審議中で、新たに「開封性」、「点字表示」に関する提案がなされた。
- (4) 「幼児保護包装の定期見直し」に関する調査
国内対策委員会内にSC3/WG3を新設し、対応している。
- (5) 「環境配慮包装に関する国際標準開発」に関する調査研究
TC122/SC4 (包装と環境) の国際幹事のスウェーデン (SIS) のもとで、各ドラフトの国際標準化の新規提案の承認から、作業原案の作成開始を経て委員会原案の投票開始までを行った。
 - ①事前戦略会議 4月22日～23日 米国・ボストン/アトランタ
延べ5名参加 (含、日本から1名)
 - ②第2回SC4会議および7WG会議 5月31日～6月4日 中国・北京
14ヶ国・50名以上参加 (含、日本から6名)
 - ③第3回SC4会議、CAG (Chairman Advisor Group) および7WG会議
10月5日～8日 日本・東京
11ヶ国・60名以上参加 (含、日本から7名)なお日本は、コンビーナ1名、プロジェクトリーダー2名を担当している。

3) JIS制定・改正に関する調査研究

5年経過したJ I Sの定期見直しを行うと共に、下記に関する改正作業を行った。

- (1) 高齢者・障害者配慮設計指針－包装・容器－危険の凸警告表示－要求事項
- (2) 包装用語

上記調査研究はすべて政府関係機関からの委託事業として実施され、報告書としてまとめられた後、各関係機関に答申された。

4) 平成21年の日本の包装産業出荷統計に関する調査研究

包装資材容器出荷金額 5兆8,592億円 (前年 6兆2,823億/前年比 93.3%)

包装機械生産金額 4,394億円 (前年 4,477億/前年比 98.2%)

合計金額 6兆2,986億円 (前年 6兆7,299億/前年比 93.6%)

5) 包装技術教育高度化に関する研究・開発 (各支部との連携)

- (1) カーボンフットプリント (CFP) 日本フォーラムの運営委員会への参画および開催されたフォーラムに参加
- (2) 製品含有化学物質の管理および情報伝達・開示 (REACH) についての輸送包装ガイドランス作成への参画
- (3) 各支部で開催される研修会へ最新情報の積極的な提供と開催への協力

2. 経験交流

2-1 海外交流

1) 包装専門視察団の派遣

10月30日(土)～11月5日(金) 7日間 米国・シカゴ 参加者16名
パッケクスポ・インターナショナル展の視察を目的とし、北米への視察団派遣を行った。

2) アジア包装連盟 (APF) との連携

*理事会、総会、アジアスター2010コンテスト

10月4日(月)～6日(水) 東京

理事会、総会およびアジアスター2010コンテストが東京ビッグサイトにおいて開催され、加盟15ヶ国中8ヶ国が参加した。日本からはJ P I 酒井専務理事が参加した。また、アジアスターコンテストには15加盟国から205点の応募があり、審査の結果109点 (日本からの24点を含む) が本年のアジアスター賞を獲得した。

3) 世界包装機構 (WPO) との連携

(1) 理事会、ワールドスター2009表彰式

6月1日(火)～4日(金) 中国・北京

中国包装技術連合会の主催で、理事会、ワールドスター2009の表彰式が行われた。

(2) 理事会、総会、世界包装会議、ワールドスター2010コンテスト

9月16日(木)～18日(土) トルコ・イスタンブール

理事会、総会、ワールドスター2010コンテストがトルコ包装産業協会の主催で開

催され、21カ国から27名が参加した。また、ワールドスターコンテストには30ヶ国から278点の応募があり、審査の結果135点（日本からの15点を含む）が今年のワールドスター賞を獲得した。

4) 国際包装研究機関連絡会（IAPRI）との連携

*第17回IAPRI世界包装会議

10月12日（火）～15日（金） 中国・天津

発表者および参加者募集等に関する支援活動を行った。

5) 日本・スウェーデン包装フォーラム（主催：(社)日本包装技術協会・スウェーデン大使館）

10月7日（木） 東京

スウェーデン側8名、日本側10名の計18名による、最近の包装についての情報交換を行った。

6) 日中包装技術交流の推進（中国包装連合会および上海市包装協会との連携）

11月19日（金） 東京

中国包装連合会のメンバー27名を受入れ、最近の包装についての情報交換を行った。

7) チュニジア品質・生産性向上プロジェクト研修生の受入れ

第1回 4月1日（木） 東京 10名を受入れ

第2回 7月28日（水） 東京 8名を受入れ

国際協力機構（JICA）および(公財)日本生産性本部との共催で、日本の包装に関する情報提供を行った。

8) 海外への講師および包装専門家の派遣

6月14日（月）～18日（金） タイ 食品包装専門家の派遣

佐々木敬卓氏（HIRO包装設計研究所）を派遣し、セミナー講師、コンサルティング等の活動を行った。また、タイ日経済技術振興協会と当会の間で、今後の両国の交流を進めてゆくための締結式が行われ、日本からはJPI酒井専務理事が参加した。

9) その他、東京パック開催を機に、タイ、台湾、韓国、バングラデシュ等、アジア諸国をはじめ、米国、スウェーデン等からの包装関係者を受入れ、交流会や情報交換を行った。

2-2 国内交流

1) 第48回全日本包装技術研究大会（関西支部との共催）

12月7日（火）～8日（水） 国立京都国際会館

発表件数78件（7部会） 参加者438名

特別講演：「日本人のころはどこに行くのか」

宗教学者 山折 哲雄 氏

12月9日（木） 工場見学（月桂冠、バイエル薬品）

- 2) 2010日本パッケージングコンテスト〔第32回〕
6月17日(木) 審査 (審査委員長: 門屋 卓 氏 (神奈川大学))
応募数355点 受賞数125点 (内、ジャパンスター賞12点)
経済産業大臣賞: 「ヒネルキャップ」 東罐興業(株)
- 3) 2010日本パッケージングフォーラム
10月7日(木) 東京ビッグサイト会議棟 参加者150名
本年度の日本パッケージングコンテストにおける上位入賞者の3社(東罐興業(株)、ソニー(株)長野ビジネスセンター、花王(株))が講演を行った。
- 4) 2010グッドパッケージング展
10月5日(火)～8日(金) 東京ビッグサイト
本年度の日本パッケージングコンテストで入賞したパッケージの展示を「東京パック2010」の会場において行った。
- 5) 経済産業省ロビー展
10月12日(火)～22日(金) 経済産業省本館1階ロビー
2010日本パッケージングコンテストで上位入賞したパッケージの中から、部門賞を除く上位54作品を経済産業省本館ロビーにおいて展示し、一般公開を行った。
- 6) 役員並びに委員に対する「感謝の集い」
8月25日(水) 東京ガーデンパレス 参加者145名
当会役員および各委員会の委員等に対する感謝を目的として交流会を開催した。
- 7) 包装懇話会の開催(主催: J P I 包装技術研究所)

(1) 食品・流通包装懇話会	4回開催	登録者数76名
(2) 医薬品包装懇話会	4回開催	登録者数148名
(3) パッケージデザイン懇話会	4回開催	登録者数45名
(4) 輸送包装懇話会	4回開催	登録者数72名
- 8) 2011年包装界合同新年会
1月11日(火) 東京會館 参加者658名
- 9) J P I 関連団体との連絡提携
日本包装専士会、日本包装管理士会、日本包装コンサルタント協会、
技術士包装物流会、日本包装学会 他
- 10) 消費者団体、市民団体等との連携

(1) グリーンフォーラム2010 (NPO法人グリーンコンシューマー東京ネットと共催)	
10月5日(火) 東京パック会場内	参加者130名
(2) 東京都地域消費者団体連絡会との意見交換会	

2月21日（月） 飯田橋セントプラザ会館 参加者15名

3. 包装人材の育成

1) 第45期包装管理士講座 6月2日（水）開講 ～ 9月10日（金）終講

受講者396名 合格者397名（前期からの再受講者14名を含む）

合格者内訳 東京会場 182名 大阪会場 89名

名古屋会場 76名 福岡会場 24名

仙台会場 12名 札幌会場 14名

以上の結果、今期を含めた包装管理士資格者総数は、計10,624名となった。

2) 包装アカデミー 6月10日（木）開講 ～ 3月4日（金）終講

(1) 第24期輸送包装コース 受講者7名

(2) 第25期食品包装コース 受講者14名

(3) 第24期包装材料コース 受講者13名

(4) 第23期医薬品包装コース 受講者14名

本年度は、受講生48名のうち46名が合格し、包装専士の称号が与えられた。以上の結果、今期を含めた包装専士資格者総数は計940名となった。

4. 展示会および関連事業の開催

1) 2010東京国際包装展（東京パック2010）〔第23回〕

10月5日（火）～8日（金）4日間 東京ビッグサイト

出展社数：551社・団体（2,118小間／11ヶ国・地域）

来場者数：170,859名 実行委員長：下泉 和也氏（DIC㈱）

併催行事：

①アジア包装会議（アジア包装連盟（APF）と共催）

10月6日（水） 東京ビッグサイト会議棟 参加者135名

②アジアの夕べ（アジア包装連盟（APF）と共催）

10月6日（水） 東京ビッグサイトレセプションホール 参加者350名

③スウェーデンフォーラム

10月5日（火）・6日（水）2日間 東京パック会場内 参加者総数170名

④包装力向上セミナー

10月5日（火）～8日（金）4日間 東京パック会場内 参加者総数4,093名

⑤出展社による最新包装情報セミナー

10月5日（火）～8日（金）4日間 東京パック会場内 参加者総数901名

⑥ISO/TC122（包装）に関する総会および各種会議

10月5日（水）～8日（金）4日間 東京ビッグサイト会議棟

⑦2010日本パッケージングフォーラム〔2-2項記載〕

⑧2010グッドパッケージング展〔2-2項記載〕

⑨グリーンフォーラム2010〔2-2項記載〕

2) 暮らしの包装商品展 2011 in 新宿の準備

開催期日：2011年9月18日（日）～20日（火）3日間

開催場所：新宿駅西口広場イベントコーナー

併催行事：2011グッドパッケージング展 他

3) 世界主要各国の国際包装展への参加

コリア・パック（韓国／6月）、台北パック（台湾／6月）、プロパック・アジア（タイ／6月）、チャイナ・パック（中国／6月）等において広報活動を行った。

5. 情報、資料の提供

1) 機関誌「包装技術」の発行 月刊（4月号～3月号）

2) 包装産業出荷統計の作成 5月

3) インターネットによる最新情報の提供

Web Site：http://www.jpi.or.jp & http://www.tokyo-pack.jp

4) 日本の包装産業界の文献情報収集と海外への紹介

6. 第34回木下賞

4月26日（月）審査（審査委員長：小野 拓邦 氏（東京大学））

応募数18件 受賞数6件

A. 研究開発部門 1件

「計量性・詰替え性に優れる液体洗剤用ユニバーサルデザインキャップの開発」
ライオン㈱

B. 改善合理化部門 1件

「樽切れビールストッパー『ハッピーエンド君』の開発」 アサヒビール㈱

C. 新規創出部門 2件

「電子レンジ包装体『小林製菓 魚焼きパック』」 小林製菓㈱、凸版印刷㈱

「新形態ガム Fit's」 ㈱ロッテ、大日本印刷㈱

☆包装技術賞 2件

「電子部品用防錆段ボール（サビナイズAg）の開発」

王子チヨダコンテナ㈱、三菱電機ロジスティクス㈱

「持続性帯電防止性能のある型物緩衝材の開発」 ㈱JSP

表彰式は、5月26日（水）に開催された第48回通常総会の席上にて行われた。

7. 組織

1) 新しい公益法人への移行準備（事業および会計の見直し等）

2月2日（水）に臨時総会を開催し、公益社団法人への移行申請に関する決議を行った後、
3月25日に内閣府への申請を行った。

2) 会員増強及び組織拡充を目的とした会員部の強化

第3 組織

会員動勢（平成22年4月1日～平成23年3月31日）は、次の通りである。

1. 法人会員

平成21年度末	平成22年度		
現在数	入会数	退会数	現在数
935	75	44	966

2. 個人会員

平成21年度末	平成22年度		
現在数	入会数	退会数	現在数
194	19	32	181

3. 特別会員

平成21年度末	平成22年度		
現在数	入会数	退会数	現在数
28	—	1	27

4. 賛助会員

平成21年度末	平成22年度		
現在数	入会数	退会数	現在数
6	—	—	6

<会員登録動勢一覧>

		平成22年	本年度		移動		平成22年度 合計
		4月1日	入会	退会	+	-	
会員総数		1,163	94	77			1,180社
法人会員		935	75	44			966社
(口数)		(960)	(75)	(45)			(990口)
個人会員		194	19	32			181名
特別会員		28	—	1			27名
賛助会員		6	—	—			6社
登録員数	法人	935社 2,894名	75社 225名	44社 136名	27	27	966社 2,983名
	個人	194名	19名	32名	1	1	181名
	合計	3,088名	244名	168名	28	28	3,164名
関東支部	法人	1,694	49社145	25社81	13	10	1,761名
	個人	109	10	18			101名
関西支部	法人	593	14社40	9社25	6	11	603名
	個人	30	2	3	1		30名
中部支部	法人	405	10社34	7社18	4	3	422名
	個人	28	5	6		1	26名
西日本支部	法人	105	1社1	3社11	1	2	94名
	個人	7		1			6名
北海道支部	法人	40	1社3		2		45名
	個人	1					1名
東北支部	法人	57	1社2	1社1	1	1	58名
	個人	19	2	4			17名

平成22年度関東支部事業報告

第1 諸会議

1) 第47回関東支部定時総会	5月26日(水)	東京會館
2) 第86回関東支部委員会	5月11日(火)	J P I 会議室
3) 研修企画委員会		
包装材料セミナー	8月31日(火)	J P I 会議室
	10月26日(火)	J P I 会議室
医薬品包装セミナー	9月8日(水)	J P I 会議室
	11月15日(月)	J P I 会議室
4) 研究会委員会		
包装情報部会	2月2日(月)	J P I 会議室
包装資材部会	2月3日(火)	J P I 会議室
輸送包装部会	2月4日(水)	J P I 会議室
包装ラインシステム化部会	2月5日(木)	J P I 会議室
生活者包装部会	2月6日(金)	J P I 会議室
5) 第96回全国支部連絡会	5月7日(金)	J P I 会議室
第97回全国支部連絡会	12月6日(月)	国立京都国際会館

第2 事業

1. 研究会活動

1) 機能別包装研究会

(1) 包装資材研究会

第182回 5月28日(金) J P I 会議室 参加者83名

「新規バリア樹脂ポリグリコール酸(PGA)」

(株)クレハ PGA事業部PGA企画・開発部長 渡邊 寿弥 氏

第183回 6月25日(金) J P I 会議室 参加者101名

「塩ビの最近の動向について」

1. 塩ビの安全性について

塩ビ食品衛生協議会 常務理事 石動 正和 氏

2. ポリ塩化ビニリデンの環境問題・安全性について

塩化ビニリデン衛生協議会 専務理事 山本 正孝 氏

第184回 9月13日(月) J P I 会議室 参加者108名

「海外の最近の包装事情について」

(株)東洋紡パッケージング・プラン・サービス 情報調査部部長 森 啓治 氏

第185回 12月16日(木) J P I 会議室 参加者81名

「食品衛生法改正に向けた検討状況と諸外国の最新動向」

ポリオレフィン等衛生協議会 加工部会主査

東罐興業(株) 紙容器販売本部市場開発部 西 秀樹 氏

第186回 3月23日(水) JPI会議室 <地震により延期>

「ラミネート用ポリウレタン接着剤」

三井化学(株) ウレタン開発部チームリーダー 大寄 武 氏

(2) 輸送包装研究会

第180回 4月23日(金) JPI会議室 参加者51名

「包装設計を助ける可視化技術と3次元シミュレーションおよび計測ソリューション」

日本SGI(株) ビジューライゼーション事業本部 下向 建秀 氏

第181回 4月23日(金) JPI会議室 参加者53名

「輸出入コンテナの横転事故に関する実験分析とその防止について」

東京海洋大学 海洋工学部教授 渡邊 豊 氏

第182回 11月24日(水) JPI会議室 参加者62名

「中国向け通販輸送に向けたツール戦略」

佐川グローバルロジスティクス(株) 経営企画部経営企画課・ITシステム課 池田 立秋 氏

第183回 11月24日(水) JPI会議室 参加者76名

「中国の製紙産業と包装事情について」

三菱商事パッケージング(株) 紙・板紙製品チームリーダー 秋間 茂 氏

第184回 2月22日(火) JPI会議室 参加者68名

「複合機の梱包スタイルの変遷と設計のポイントについて～紙系緩衝材への歩み～」

京セラミタ(株) 技術本部MD22課 中村 敏之 氏

(3) 包装ラインシステム化研究会

第180回 7月21日(水) JPI会議室 参加者34名

「お米を対象とした検査装置と選別装置およびその応用について」

(株)サタケ 技術本部選別・計測・軽量グループグループ長 原 正純 氏

第181回 7月21日(水) JPI会議室 参加者45名

「LL(ロングライフ)チルドカップの製造工程と品質管理について」

フレスコ(株) 品質保証部大井川品質管理課課長 木村 浩之 氏

第182回 10月28日(木) JPI会議室 参加者31名

「ファナックロボットの紹介及び適用事例と導入効果について」

ファナック(株) 応用ロボット研究所システム設計部長理事 大塚 和久 氏

第183回 1月27日(木) JPI会議室 参加者88名

「東南アジアの包装市場動向と当社の取り組みについて」

凸版印刷(株) 国際事業部本部長 福島 薫 氏

第184回 3月23日(水) JPI会議室 <地震により中止>

「グローバル展開を視野に入れた製薬工場新設のポイント」

(株)広貫堂 生産本部執行役員生産本部長 岡崎 秀壽 氏

(4) 生活者包装研究会

第182回 8月26日(木) JPI会議室 参加者91名

「化粧品における合法的魅力化～魅力的商品づくりのための法的要件の遵守と商品設計ポリシー～」

1. 化粧品の表示に関する法規制について

トゥ・ビー事務所 化粧品アドバイザー 渡部 展弘 氏

2. 化粧品の表示に関する実施例

美裕デザインオフィス パッケージデザイナー 丹羽 達雄 氏

第183回 10月28日(木) JPI会議室 参加者32名

「プラスチック食品包装容器の3R推進について」

全国プラスチック食品容器工業組合 事務局長 金澤 信夫 氏

第184回 12月16日(木) JPI会議室 参加者87名

「食品包装表示における最近の動向」

消費者庁 食品表示課課長補佐(総括) 平中 隆司 氏

第185回 1月27日(木) JPI会議室 参加者76名

「PMMIに見るコンバーターの活動と細川洋行のグローバル展開」

(株)細川洋行 開発部グループリーダー部長代理 長田 兼治 氏

第186回 2月22日(火) JPI会議室 参加者81名

「東京パック2010及び最近の国内外にみる機能性包装動向」

住本技術士事務所 所長 住本 充弘 氏

(5) 包装情報研究会

第60回 5月28日(金) JPI会議室 参加者98名

「平成21年度のカーボンフットプリント試行事業の概要と今後」

(社)産業環境管理協会 製品環境情報事業センター副所長 石塚 明克 氏

第61回 6月25日(金) JPI会議室 参加者85名

「味の素グループの環境・サステナビリティへの取組み～いのちのために働く～」

味の素(株) 環境・安全部兼CSR部専任部長 杉本 信幸 氏

第62回 8月26日(木) JPI会議室 参加者102名

「デザイナーにおけるUD・エコパッケージの開発について」

コーセーコスメポート(株) 商品開発部デザイン室室長 山田 博子 氏

第63回 9月13日(月) JPI会議室 参加者92名

「環境ユニバーサルデザインが拓くパッケージの未来」

凸版印刷(株) 生活環境事業本部事業戦略本部販売促進部部長 中井 裕太 氏

第64回 3月23日(水) JPI会議室 <地震により延期>

「ドイツの廃棄物規制の現状とこれから」

在日ドイツ商工会議所 会員サービス部部長 林 哲裕 氏

2) 月例見学会(4回開催)

第262回 6月29日(火) 参加者39名 森永乳業(株)東京多摩工場

第263回 7月13日(火) 参加者17名 日野自動車(株)日野工場

第264回 9月17日(金) 参加者40名 エーザイ(株)美里工場

第265回 3月11日(金) 参加者36名 日本ミルクコミュニティ(株)野田工場

3) 県別包装研究会

(1) 第56回新潟県包装研究会

- 10月29日(金) 朱鷺メッセ会議室 参加者45名
「カーボンフットプリント制度の概要について」
みずほ情報総研(株) 環境・資源エネルギー部次長 加地 靖 氏
「バイオプラスチックの食品容器への応用の現状と今後の展開」
リスパック(株) 技術開発本部技術開発部主任 水谷 善教 氏
- (2) 第91回静岡県包装研究会
- 11月26日(金) あざれあ第3会議室 参加者42名
「環境対応に貢献する鉄道貨物輸送～JR貨物の現状と取組み～」
日本貨物鉄道(株) ロジスティクス本部営業部担当部長 姫野 健士 氏
「トラック小口輸送のための包装貨物試験」
レンゴー(株) パッケージ・デザイン部パッケージ開発センター課長 東山 哲 氏
「富士工業技術支援センターの輸送包装試験機器について」
富士工業技術支援センター 上席研究員 堤 真一 氏

2. 研修活動

1) セミナー・シンポジウム

(1) 第13回化粧品包装セミナー

- 7月23日(金) アイビーホール青学会館 参加者100名
テーマ『化粧品包装へのニーズと最新動向について』
「@c o s m eのクチコミから見る化粧品におけるパッケージの価値と評価」
(株)アイスタイル コミュニケーションプランニング部リサーチプランナー 西原 羽衣子 氏
「新機構を用いたキャップ付きフェイスブラシの開発」
(株)コーセー 商品デザイン部設計課 末武 照彦 氏
「資生堂の環境への取組み～サトウキビ由来ポリエチレンを用いた化粧品容器について～」
(株)資生堂リサーチセンター 副主幹研究員 佐藤 達夫 氏

(2) 第1回パッケージイノベーションセミナー

- 12月17日(金) エッサムグリーンホール 参加者64名
「パッケージ力～これからの変革と挑戦」
凸版印刷(株) 生活環境事業本部事業戦略本部販売促進部部長 中井 裕太 氏
「高齢者疑似体験」
(社)長寿社会文化協会
「消費者調査から見た革新的パッケージの利点と問題点」
日経BP社 日経デザイン編集部編集記者 丸尾 弘志 氏
「ブランド価値を創造するパッケージデザイン」
(株)ブラビス・インターナショナル 代表取締役社長
(社)日本パッケージデザイン協会 理事長 フミ・ササダ 氏

(3) 第6回包装材料セミナー

- 1月28日(金) アイビーホール青学会館 参加者76名
テーマ『低炭素社会をリードする最新食品シェルフライフの延長技術』
「レトルト食品の保存性と賞味期限について (ハイバリア包材の活用とその効果)」

公益財団法人東洋食品研究所 食品加工研究室 田口 善文 氏

「ハイブリッドボトルの開発～環境適性とお客様適性を考慮した炭酸飲料用PETボトル～」

サントリービジネスエキスパート(株) 新包材技術開発推進部 横山 拓己 氏

「酸素吸収機能を付与したポーションパックの開発」

キューピー(株) 研究所商品開発センター 野田 治郎 氏

「賞味期限の延長技術とそのメリット」

包装科学研究所 主席研究員 葛良 忠彦 氏

(4) 第4回環境を考える包装革命シンポジウム

3月9日(水) アルカディア市ヶ谷 参加者47名

テーマ『循環型社会を構築していく上で包装が果たすべき役割』

○基調講演

「『CO2・環境先進性が見せる化』に向けて～カーボンフットプリント制度試行事業の成果と今後の取組み～」

経済産業省 産業技術環境局環境調和産業推進室課長補佐(総括) 山室 芳剛 氏

○パネルディスカッション事前発表

「大変化するCSR取組み～バリューチェーン全般についての取組みと情報開示の必要性～」

NPO法人サステナビリティ日本フォーラム 代表理事 後藤 敏彦 氏

「循環型社会構築の上で容器包装メーカーの取組み事例と課題」

大日本印刷(株) 環境安全部シニアエキスパート 長谷川 浩 氏

「2R(リデュース、リユース)を優先する社会へ」

びん再使用ネットワーク 代表幹事 中村 秀次 氏

「パッケージ開発におけるエコへの取組み」

HAVI Global Solutions(株) ディレクター 羽貝 泰昭 氏

「資源回収・リサイクルの現場から展望する容器包装リサイクルの新たな可能性」

トムラ・ジャパン(株) セールス&マーケティング部ゼネラルマネージャー 松村 あづさ 氏

○討議

司会:

(株)パッケージング・ストラテジー・ジャパン 取締役社長 有田 俊雄 氏

パネリスト:

後藤 敏彦 氏、長谷川 浩 氏、中村 秀次 氏、

羽貝 泰昭 氏、松村 あづさ 氏

(5) 平成22年度医薬品包装セミナー

3月25日(金) (社)日本薬学会長井記念ホール <地震により延期>

テーマ『医薬品安全の視点から見た医薬品包装』

「医薬品流通バーコードの動向」

1. 医薬品流通バーコードのインラインシステム化について

カナエエンジニアリング(株) エンジニアリング1グループ課長 北垣 雄二 氏

2. PTPアルミ箔のバーコード印刷

東洋アルミニウム(株) 加工品事業部群馬加工工場生産技術G課長代理 久保 博司 氏

「後発医薬品と医療安全～市大病院の考え方と実際～」

横浜市立大学附属病院 薬剤部担当係長 小池 博文 氏

「人間工学から見た医薬品包装と取り違いにおけるヒューマンエラー」

東京都立産業技術高等専門学校 医療福祉工学コース教授 三林 洋介 氏
「医療現場が望む医薬品の包装と表示」
北里大学東病院 薬剤部 / 北里大学 薬学部講師 平山 武司 氏

2) 包装情報ステーション

第43回 4月27日(火) JPI会議室 参加者27名
「香港ビジネスセミナー『ビジネス情報と香港の機能』」
香港貿易発展局 アシスタント・マーケティング・マネージャー 吉村 壮太郎 氏
香港貿易発展局 貿易引合副主任 長谷川 隆是 氏
第44回 3月29日(火) JPI会議室 <地震により中止>
「『Pack-Track』を使うパッケージイノベーション」
Andrew Streeter (アンドリュー・ストリーター) 氏

3) コース

(1) 第16回包装新人研修コース

4月15日(木)～16日(金) セミナーハウス『クロスウェーブ』 参加者31名
「包装の役割と包装を取り巻く現状」
凸版印刷(株) 総合研究所 加藤 武男 氏
「生活者にやさしい包装とは」
エイジング社会研究所 代表 関 悦子 氏
「工場見学」
サッポロビール(株)千葉工場
「包装に求められる包装材料とは」
水口技術士事務所 所長 水口 眞一 氏
「プレゼンテーションの技術」
「グループ討議：消費者(生活者)の視点から見た、優れた包装とは」
TOTAL PRONET 代表取締役 岡 利彦 氏
「包装を取り巻く規制・法律について」
JPI技術参与/アイル知財事務所 所長 白倉 昌 氏
「包装設計の基礎と考え方—設計技法と事例—」
味の素(株) 食品技術開発センター包装設計グループ長 原納 成伸 氏
「輸送環境と包装」
オリンパス(株) 物流推進部物流エンジニアリンググループ課長 藤井 幸則 氏
「商品企画とパッケージデザイン—商品づくりのプロセスとデザインの関わり—」
大日本印刷(株) 包装事業部企画本部デザイン戦略部 山田 明 氏

(2) 第43回包装基礎コース

5月12日(水)～14日(金)、20日(木)～21日(金)
JPI会議室 参加者79名
「包装概論と包装技法」
大日本印刷(株) 包装事業部環境室シニアエキスパート 藤井 均 氏
「【包装材料1】板紙・紙器」

(株)クラウンパッケージ 社長付研究開発室 八木野 徹 氏

「【包装材料2】プラスチックフィルム」

ユニチカ(株) 中央研究所フィルムグループ 三宅 宗博 氏

「【包装材料3】ガラスびんと金属缶及びプラスチック容器」

キリンビール(株) パッケージング技術開発センター主査 天野 勉 氏

「防湿包装・ガス遮断包装技法」

藤森工業(株) 研究所開発担当課長 荒木田 真 氏

「生活者包装設計『食品包装設計の基本』」

キューピー(株) 研究所食品開発センター 野田 治郎 氏

「パッケージデザイン概論」

凸版印刷(株) トップアンアイデアセンター商品企画部課長チームリーダー 山川 昌 氏

「食品容器と包装システム」

東洋製罐(株) 生産本部カスタマーエンジニアリング部 長谷 宣昭 氏

「【包装材料4】段ボール」

王子チョダコンテナ(株) 営業本部CS推進部主幹 廣部 健一朗 氏

「トイレットリー製品のUD・環境対応～花王での取組事例を中心に～」

花王(株) 包装容器開発研究所所長 畑 雅治 氏

「輸送包装設計」

日立電子サービス(株) 技術開発本部マルチベンダ・アライアンス部第2グループ 高橋 二郎 氏

「輸送包装の実際」

三菱電機(株) 生産システム本部ロジスティクス部技術グループ専任 津村日出男 氏

「ケーススタディ」

生活者包装担当：雪印乳業(株) 技術研究所研究第2グループ主席 松野 一郎 氏

輸送包装担当：(株)トーモク 開発営業部 土谷 恒 氏

(3) 第27回フレキシブルパッケージコース

11月2日(火) JPI会議室 参加者37名

軟包装衛生協議会 常務理事 下山田 正博 氏

(4) 第36回段ボール包装設計コース

2月24日(木)～25日(金) JPI会議室 参加者47名

レンゴー(株) パッケージ・デザイン部東京包装技術センター課長 石川 淳生 氏

王子チョダコンテナ(株) 営業本部CS推進部主幹 中川 喜尊 氏

日本包装管理士会 会長 井上 伸也 氏

(5) 第6回緩衝包装設計コース

1月20日(木) JPI会議室 参加者35名

日立電子サービス(株) 技術開発本部マルチベンダ・アライアンス部第1グループ 高橋 二郎 氏

(6) 第1回食品包装コース

11月16日(火)、12月14日(火)、1月18日(火)、

2月9日(水)、3月8日(火) 延べ5日間 参加者17名

水口技術士事務所 所長 水口 眞一 氏

4) 2010日本パッケージングフォーラム

10月7日（金） 東京ビッグサイト会議棟 参加者150名
「簡単中栓『ヒネルキャップ』の開発コンセプト」
東罐興業(株) 樹脂容器生産本部技術部樹脂容器技術グループ専任課長 磯貝 孝光 氏
「ネットブックPC“VAIO W”の環境負荷を減らす取り組み」
ソニー(株) VAIO第1事業本部関連技術部2課 上井 健介 氏
「容器包装の環境対応の取組み～アタックNeo容器開発事例～」
花王(株) 包装容器開発研究所 稲葉 真一 氏

3. 平成22年度包装管理士講座（第45期）

6月から9月、本部と一体で開催する。東京会場では材料科目と専門コース（輸送包装コースと生活者包装コース）を担当。総受講者396名のうち、東京会場は185名で、最終的に182名（含む昨年度4名）の包装管理士が誕生した。

合格証書授与式：10月28日（木） 青学会館

4. 経験交流

- 1) 2011年包装界合同新年会（本部、他10団体と共催）
1月11日（火） 東京會館 参加者658名
- 2) 役員並びに委員に対する「感謝の集い」
8月25日（水） 東京ガーデンパレス 参加者145名
特別講演 「家庭・社会におけるビールの雑学」
アサヒビール(株) 常務取締役 川面 克行 氏

5. 協力活動

- 1) 第48回全日本包装技術研究大会（関西支部担当）
12月7日（火）～8日（水） 国立京都国際会館 参加者438名
- 2) 2010日本パッケージングコンテスト（本部事業運営に協力）
審査日：6月17日（木） 応募件数355点
- 3) 2010東京国際包装展（本部事業に協力）
10月5日（火）～8日（金） 東京ビッグサイト 来場者170,859名

6. 関連団体との連携

日本包装専士会、日本包装管理士会、日本包装コンサルタント協会、
技術士包装物流会、日本包装学会等に協力

平成22年度関西支部事業報告

第1 諸会議

1) 第45回関西支部年次総会	5月19日(水)	リーガロイヤルNCB
2) 関西支部理事会	5月19日(水)	リーガロイヤルNCB
3) 運営委員会	6月9日(水)	関西生産性本部
	10月13日(水)	関西生産性本部
	12月15日(水)	関西生産性本部
	3月2日(水)	関西生産性本部
4) 生活者包装研究懇談会委員会	8月4日(水)	関西生産性本部
	3月9日(水)	関西生産性本部
5) 第96回全国支部連絡会	5月7日(金)	JPI本部会議室
第97回全国支部連絡会	12月6日(月)	国立京都国際会館

第2 事業

1. 経験交流

1) KPI会員フォーラム

- 第1回 4月23日(金) NCBスカイルーム 参加者48名
「容器包装リサイクル法の今後と産官学民連携による包装廃棄物の発生抑制」
神戸大学大学院 経済学研究科教授 石川 雅紀 氏
- 第2回 6月16日(水) NCBスカイルーム 参加者71名
「ロッチェにおけるユニバーサルデザインへの取組み～Fit'sの開発を中心に～」
(株)ロッチェ 中央研究所包装研究室主査 小垣 美津子 氏
- 第3回 7月21日(水) 見学会 参加者27名
揖保乃糸資料館「そうめんの里」、ヒガシマル醤油(株)
- 第4回 8月18日(水) NCBスカイルーム 参加者45名
「包装軽量化を促進する“8角形段ボールケース”」
レンゴー(株) パッケージ・デザイン部東京包装技術センター課長 石川 淳生 氏
- 第5回 9月22日(水) NCBスカイルーム 参加者53名
「クレハPGA(ポリグリコール酸)の新しい可能性と用途展開」
(株)クレハ PGA事業部PGA企画・開発部長 渡邊 寿弥 氏
- 第6回 10月20日(水) 見学会 参加者37名
パナソニックエコテクノロジーセンター(株)
- 第7回 11月24日(木) NCBスカイルーム 参加者68名
「花王の“よきモノづくり”と全社品質保証活動」
花王(株) 執行役員品質保証本部長 青木 秀子 氏

- 第8回 12月15日(水) NCBスカイルーム 参加者54名
「パックエクスポ視察報告会」
中本パックス(株) CSD事業部関西営業部次長 阪上 達夫 氏
- 第9回 2月16日(水) NCBスカイルーム 参加者59名
「包装設計のためのシミュレーション技術」
エクサーチLLC合同会社 代表 高木 雅広 氏
アルテアエンジニアリング(株) Hyper Works 事業部 上島 淳志 氏
- 第10回 3月16日(水) NCBスカイルーム 参加者43名
「カーボンフットプリントの振り返りと今後の展開」
(社)産業環境管理協会 製品環境情報事業センター副所長 石塚 明克 氏

2) 生活者包装研究懇談会

- 第1回 6月18日(金) 見学会 参加者65名
エーザイ(株)川島工園、内藤記念くすり博物館
- 第2回 9月22日(水) NCBスカイルーム 参加者72名
「キューピーのドレッシングキャップ中栓のユニバーサルデザイン化」
キューピー(株) 研究所商品開発センター包材チームチームリーダー 高山 崇 氏
「医療現場からの医薬品包装に対するニーズ」
北里大学東病院 薬剤部兼薬学部講師 平山 武司 氏
- 第3回 12月1日(水) NCBスカイルーム 参加者54名
「環境とお客様の使いやすさを考えたジョア容器の革新的リニューアル」
(株)ヤクルト本社 開発部開発課主事 増田 智之 氏
「一般用医薬品のユニバーサルデザインの現状と課題」
熊本大学大学院 医学薬学研究部教授 丸山 徹 氏
- 第4回 2月23日(水) NCBスカイルーム 参加者56名
「気候変動と容器包装の在り方～流通業界からみたカーボンフットプリントシステムの本質を中心として～」
イオン(株) 環境シニアアドバイザー 上山 静一 氏
「医療安全対策は関係者全員の課題～薬剤に関する事故を考える～」
社会医療法人愛仁会 理事 永池 京子 氏

3) 第48回全日本包装技術研究大会(関西支部担当)

12月7日(火)～8日(水) 国立京都国際会館 参加者438名

4) 新春KPI会員交流会

1月13日(木) リーガロイヤルNCB 参加者221名

<記念講演会>

「何がヒトを人にしたのか：サル学から見る性と人類の進化」

京都大学 霊長類研究所教授 古市 剛史 氏

2. 人材育成

1) 第17回包装基礎コース

5月26日(水)～28日(金) NCBスカイルーム 参加者62名

「包装概論」

(社)日本包装技術協会 包装技術研究所技術参与 高橋 宏明 氏

「板紙・紙器」

大日本印刷(株) 包装事業部企画本部デザイン戦略部 飯島 淳 氏

「段ボール」

レンゴー(株) パッケージ・デザイン部大阪包装技術センター課長 熊谷 知久 氏

「プラスチックフィルム」

ユニチカ(株) フィルム事業本部フィルムカスタマー・ソリューション部グループ長 中野 功 氏

「ガラスびん」

日本山村硝子(株) ガラスびんカンパニー播磨工場総務課長 岡本 正則 氏

「プラスチック容器・金属缶」

東洋製罐(株) 茨木工場品質課長 日里 康 氏

「輸送包装技法」

パナソニック(株) 生産革新本部開発設計力強化センター

製品評価技術グループ包装技術担当リーダー 畝木 秀治 氏

「生活者包装技法」

凸版印刷(株) 生活環境事業本部生活環境製造事業部

技術開発本部商品開発部部長 桃川 公一 氏

2) 第45期包装管理士講座

6月～9月 大阪会場受講者87名 合格者89名(前期修了者含む)

合格証書授与式: 10月22日(金) リーガロイヤルNCB 参加者72名

3) 第4回緩衝包装設計実践コース

11月2日(火) 大阪府立産業技術総合研究所 参加者10名

<講義>

大阪府立産業技術総合研究所 情報電子部信頼性・生活科学系

包装・振動衝撃分野研究員 津田 和城 氏

<講義・演習>

シャープ(株) CS推進本部商品審査センター係長 成木 裕一 氏

4) 第37回段ボール包装設計実習コース

2月2日(水)～4日(金) 関西生産性本部/アイロップ(株) 参加者22名

<講義>

レンゴー(株) パッケージ・デザイン部東京包装技術センター部長 安川 義浩 氏

<実習>

アイロップ(株) 包装技術研究室リーダー 吉木 宏 氏

同 大下 正人 氏

平成22年度中部支部事業報告

第1 諸会議

1) 第47回中部支部定期総会	5月12日(水)	ホテルキャッスルプラザ
2) 第47回中部支部役員会	4月21日(水)	名古屋観光ホテル
3) 第1回運営委員会	9月3日(金)	ホテルキャッスルプラザ
第2回運営委員会	3月25日(金)	ホテルキャッスルプラザ
4) 第46期包装管理士講座講師打合せ会	2月4日(金)	ホテルキャッスルプラザ
5) 第96回全国支部連絡会	5月7日(金)	JPI本部会議室
第97回全国支部連絡会	12月6日(月)	国立京都国際会館

第2 事業

1) 研究会活動

(1) 機能別包装研究例会

①包装資材研究例会

6月17日(木) 愛知県産業労働センター 参加者96名

テーマ『すぐに役立つ包装資材・副資材の最新情報』

「天然由来の安全な防虫抗菌材についてーフィルム・段ボール・紙器等への応用」

(有)バイオエコ 企画営業部部长 早瀬 学 氏

「脱酸素剤の最新動向について」

三菱ガス化学(株) 特殊機能材カンパニー企画開発部脱酸素剤グループ担当課長 仲川 和秀 氏

「持続性耐電防止性能を有するポリプロピレン系発泡体緩衝材の開発と応用」

(株)JSP 高機能材カンパニー開発部部长 佐々木 秀浩 氏

「最近の乾燥剤・吸湿剤の動向と効果的な使用法」

日本化工機材(株) R&Dセンター企画開発G 篠原 光雄 氏

「防錆フィルムによる包装改善と省資源パッケージ」

アイセロ化学(株) マーケティング本部マネージャー 村上 貴紀 氏

②輸送包装研究例会

7月22日(木) 愛知県産業労働センター 参加者94名

テーマ『中国物流の実態、新規バンニング技術による輸送改善、そして企業立地について』

「中国物流の実態」

順旺現代包装材料(上海)有限公司 総裁 技術士(経営工学) 福喜多 俊夫 氏

「CVT利用による重量物の輸送改善～ドライコンテナへの効率的バンニング/デバンニングを実現する技術～」

名港海運(株) 業務部副部長 川北 俊信 氏

「中部臨空都市/企業立地のご案内～未来を拓く創造拠点・愛知から広げるビジネスチャンス～」

愛知県企業庁 企業誘致課主査(臨空都市推進グループ) 夏目 隆志 氏

③生活者包装研究例会

9月16日(木) 愛知県産業労働センター 参加者35名

テーマ『包装材料のリスク管理と魅力あるパッケージ容器のデザイン開発』

「包装材料のポジティブリスト(PL)とネガティブリスト(NL)から見るリスク管理」

東罐興業(株) 紙容器販売本部市場開発部 西 秀樹 氏

「デザインから始まるモノづくり～パッケージデザインから金型製作及び成形にいたる一貫したサービスモデルの構築～」

本多プラス(株) 代表取締役専務 本多 孝充 氏

④包装技術講習会

11月25日(木) 愛知県産業労働センター 参加者86名

「輸出入コンテナの横転事故に関する実験的考察とその防止について」

東京海洋大学 海洋工学部教授 渡邊 豊 氏

「ヤマハ発動機株式会社の製品梱包の概要と3R活動の紹介」

ヤマハ発動機(株) 物流・安全貿易部ロジスティック技術グループグループリーダー主査 深村 英明

(2) 講演会

①定期総会記念講演会

5月12日(水) ホテルキャッスルプラザ 参加者74名

「ヒトづくり・モノづくりの哲学」

(株)樹研工業 代表取締役 松浦 元男 氏

②支部事務所移転お披露目記念講演会

11月9日(火) 新・日通ビル大会議室 参加者86名

「持続可能な経済とは」

(株)アシスト 代表取締役 ビル・トッテン 氏

(3) 見学会

11月19日(金) 参加者31名

あいち臨空新エネルギー実証研究エリア、飛島コンテナ埠頭(株)(TCB)

(4) 第50回包装技術研究大会中部大会

2月17日(木) 愛知県産業労働センター 参加者172名

テーマ『Kaizen(カイゼン)が拓く包装力向上と日産自動車の物流改善活動について』

「社会環境性に配慮した荷造りバンドの開発」

(株)デンソーロジテム 輸出入業務部輸出業務室(包装管理士) 小川 剛 氏

「自動車用フロントアクスルの輸出包装の改善」

見田工作(株) L.P室(包装管理士) 小井阪 琢 氏

「集合包装の大ロット化による効率改善提案事例」

川上産業(株) 本社営業所お客様係(包装管理士) 宮崎 光代 氏

「輸出用アップライトピアノの包装改善」

中津川包装工業(株) 開発部掛川営業所(包装管理士) 暮石 達哉 氏

「レーザー孔による袋内部の脱気改善事例」

三洋グラビア(株) 品質保証室長(包装管理士) 縄 裕司 氏

「医薬品包装ライン安定生産に向けた設備改造」

味の素製薬(株) 生産技術部主任(包装管理士) 田中 正治 氏

「個人用透析装置梱包改善－梱包材ライフサイクルにおけるトータル改善事例－」

ダイナパック(株) 静岡事業所営業部(包装管理士) 西尾 和展 氏

「パルプモールド脚部を使用した組立式パレット」

株名古屋モールド 企画開発課長 野倉 淳嗣 氏

【特別講演】「日産自動車における物流改善」

日産自動車(株) SCM本部部品物流エンジニアリング部部長 安藤 康行 氏

(5) 第23回包装研究懇話会

3月4日(金) 本多プラス(株) 参加者20名

○企業概要と「他人のやらないことをやる」を始めとするモノづくりにおける経営理念の説明

○全館クリーンルーム工場でのブロー成形、組立/包装工程を見学

2) 研修活動

(1) 第20回包装設計と開発の基礎講座

5月20日(木)～21日(金) 愛知県技術開発交流センター 参加者40名

(2) 第45期包装管理士講座

6月～9月 名古屋会場受講者73名 合格者76名(前期修了者含む)

合格証書授与式: 10月22日(金) メルパルク名古屋

3) 第48回全日本包装技術研究大会(関西支部担当)

12月7日(火)～8日(水) 国立京都国際会館 参加者438名

中部支部からの発表件数 10件

4) 会員交流会

(1) 第47回定期総会交流懇親会

5月12日(水) ホテルキャッスルプラザ 参加者76名

(2) 支部事務所移転お披露目記念交流会

11月9日(火) 名古屋マリオットアソシアホテル 参加者57名

(3) 2011中部包装界新年賀詞交換会

1月12日(水) ホテルキャッスルプラザ 参加者170名

(4) 第50回包装技術研究大会中部大会記念情報交流会

2月17日(木) キリンビアシティ 参加者51名

平成22年度西日本支部事業報告

第1 諸会議

1) 第47回西日本支部通常総会	5月13日(木)	日本通運(株)福岡支店会議室
2) 第46回西日本支部理事会	5月13日(木)	日本通運(株)福岡支店会議室
3) 第1回運営委員会	10月19日(火)	日本通運(株)福岡支店会議室
第2回運営委員会	3月8日(火)	日本通運(株)福岡支店会議室
4) 第96回全国支部連絡会	5月7日(金)	JPI本部会議室
第97回全国支部連絡会	12月6日(月)	国立京都国際会館

第2 事業

1) 研修

(1) 第45期包装管理士講座

6月～9月 福岡会場受講者24名 合格者24名

(2) 合格証書授与式

11月12日(金) 日本通運(株)福岡支店会議室 参加者33名

2) 講演会

5月13日(木) 日本通運(株)福岡支店会議室 参加者40名

「地域経済と産業の展望～課題と新しい動き」

シンクタンク・バードウィング(九州経済社会研究所) 代表 鳥丸 聡 氏

3) 研究会・見学会

(1) 包装技術事例・研究発表会

11月12日(金) 日本通運(株)福岡支店会議室 参加者34名

「醤油ボトル用段ボール箱の包装改善」

レンゴー(株) 鳥栖工場営業第一課包装技術 高比良 仁司 氏

「大型梱包における改善提案事例」

王子インターパック(株) 福岡営業所 後藤 孝明 氏

「含気ボイル包装設計について」

凸版印刷(株) 西日本事業本部生活系開発部 大園 瑠里 氏

「スタンディングパウチ外装箱の包装改善」

(株)トーモク 開発営業部包装技術チーム 芹澤 慧 氏

「冷凍食品包材のピンホール問題解決提案事例ハードレックス」

福岡工業(株) 九州支店営業課 川本 経三郎 氏

(2) 見学会

第1回 8月24日(火) 参加者30名

○パナソニックシステムネットワークス(株)福岡事業場

○アサヒビール(株)博多工場見学コース

第2回 3月16日(火) 参加者30名

○TOTO(株)小倉第一工場(衛生陶器工場)・TOTO歴史資料館

○TOTOウォシュレットテクノ(株)包装試験設備の実技見学

4) 経験交流

第48回全日本包装技術研究大会(関西支部担当)

12月7日(火)～8日(水) 国立京都国際会館 参加者438名

西日本支部からの発表件数 1件

5) 組織活動

(1) 機関誌「包装技術」の登録会員への配布

(2) 新規会員増強活動

6) 連携・後援活動

(1) 日本包装管理士会西日本支部との諸事業共催

(2) 「第20回西日本食品産業創造展'10」の後援

平成22年度北海道支部事業報告

第1 諸会議

- | | | |
|------------------|-----------|----------|
| 1) 第43回北海道支部通常総会 | 6月24日(木) | 札幌すみれホテル |
| 2) 第80回運営委員会 | 5月26日(水) | 札幌すみれホテル |
| 第81回運営委員会 | 10月14日(木) | チサンホテル札幌 |
| 3) 第96回全国支部連絡会 | 5月7日(金) | JPI本部会議室 |
| 第97回全国支部連絡会 | 12月6日(月) | 国立京都国際会館 |

第2 事業

1) 経験交流

- (1) 2010東京国際包装展(東京パック)への参加
10月5日(火)～8日(金) 東京ビッグサイト
- (2) 第48回全日本包装技術研究大会(関西支部担当)への参加
12月7日(火)～8日(水) 国立京都国際会館 参加者438名
- (3) 2011年賀詞交歓会(日本包装管理士会北海道支部と共催)
2月4日(金) 札幌全日空ホテル 参加者17名

2) 研修活動

- (1) 通常総会特別講演
6月24日(木) 札幌すみれホテル 参加者27名
「変わる消費者にマーケティングはどう応えるか
～エモーションを刺激する7つの特性と「物語マーケティング」」
(株)電通 電通総研消費者研究センター 消費の未来研究部長 四元 正弘 氏
- (2) 第45期包装管理士講座
6月～9月 札幌会場受講者14名 合格者14名
- (3) 第45期包装管理士合格証書授与式・レポート発表会・懇親会
11月9日(火) チサンホテル札幌 参加者34名
- (4) 包装特別講演会
9月22日(水) 札幌すみれホテル 参加者36名
「これからのパッケージと包装産業の動向
～2020年までの今後10年間の展望～」
(株)パッケージング・ストラテジー・ジャパン 取締役社長 有田 俊雄 氏

3) 研究・懇話会

- (1) 企業見学研究会(北海道生産性本部と共催)
11月19日(金) 参加者22名

- ①新千歳空港国内線貨物ターミナル（千歳市）
- ②新千歳空港国際線旅客ターミナルビル（千歳市）
- ③東洋製罐㈱千歳工場（千歳市）
- (2) 包装懇話会（日本包装管理士会北海道支部と共催）
 - 1 1月9日（火） チサンホテル札幌 参加者37名
 - 「世界の包装の流れと日本の対応」
 - 住本技術士事務所 所長 住本 充弘 氏
- (3) 新春研究会（日本包装管理士会北海道支部と共催）
 - 2月4日（金） 札幌全日空ホテル 参加者28名
 - 「包装の動向～輸送用容器・包装～」
 - 日本包装管理士会 会長（井上包装管理士事務所代表） 井上 伸也 氏

4) 連携・協力活動

- (1) 日本包装管理士会北海道支部への協力（共催事業の実施）
- (2) 食品産業界との交流
 - ①北海道食品安全協議会委員：運営委員長就任
 - ②北海道食品産業振興会議委員：運営委員長就任
- (3) 包装技術相談
- (4) 環境道民会議へ団体として参加

平成22年度東北支部事業報告

第1 諸会議

1) 第28回東北支部通常総会	6月7日(月)	江陽グランドホテル
2) 第1回東北支部理事会	6月7日(月)	江陽グランドホテル
3) 第1回運営委員会	4月27日(火)	仙台商工会議所会館
第2回運営委員会	5月13日(木)	仙台商工会議所会館
第3回運営委員会	10月25日(月)	仙台商工会議所会館
4) 第96回全国支部連絡会	5月7日(金)	JPI本部会議室
第97回全国支部連絡会	12月6日(月)	国立京都国際会館

第2 事業

1) 研究会活動

(1) 特別講演会(東北生産性本部、東北IE協会と共催)

5月31日(月) ハーネル仙台 参加者61名

「ベガルタ仙台と地域のつながり」

(株)ベガルタ仙台 代表取締役社長 白幡 洋一 氏

(2) 包装研究例会

第1回(日本包装管理士会と共催)

6月25日(金) ハーネル仙台 参加者18名

「カーボンフットプリント等経済産業省の環境経営支援施策と東北経済産業局の取り組みについて」

東北経済産業局 エネルギー環境部循環型産業振興課 鈴木 晃平 氏

「海外向け輸送包装試験に求められる方法と条件の最新動向」

エクサーチLLC合同会社 代表 高木 雅広 氏

第2回(宮城県消費者協会共催)

12月3日(金) 仙台商工会議所会館 参加者26名

「LEDを光源に用いた植物工場の展開～エコ環境を考えた新たな生産方式～」

仙台高等専門学校 地域イノベーションセンター長 羽賀 浩一 氏

(3) 見学会(仙台国際貿易港整備利用促進協議会主催)

10月14日(木) 仙台国際貿易港 参加者150名

(4) 東北支部包装技術研究発表大会

11月2日(火) 仙台商工会議所会館 参加者29名

「EOG減菌用包装資材部門剥離改善」

凸版印刷(株) 盛岡営業所 濱田 保志 氏

「ミネラルウォーター2L PETボトル入外装段ボール箱の包装改善」

レンゴー(株) 仙台工場営業部 権田 和広 氏

(5) 第48回全日本包装技術研究大会(関西支部担当)

12月7日（火）～8日（水） 国立京都国際会館 参加者438名

2) 研修活動

(1) 第19回段ボール包装基礎セミナー

8月3日（火） 仙台商工会議所会館 参加者11名

<講師>日本包装管理士会 東北支部副支部長 斎藤 昇 氏

(2) 第45期包装管理士講座

6月～9月 仙台会場受講者13名 合格者12名

合格証書授与式：11月2日（火） 仙台商工会議所会館 参加者25名

(3) 新包装管理士を囲む会

11月2日（火） 仙台商工会議所会館 参加者22名

3) 経験交流活動

(1) 2011年新年名刺交換会

1月12日（水） 江陽グランドホテル 参加者75名